

長与町
町制施行 50 周年
記念誌



きせき

貴
石

すこやかな
未来をはぐくむ
長与町



奇
跡



軌
跡



[世帯配布版]

長崎国体で 幕を開けた長与町

69-1993

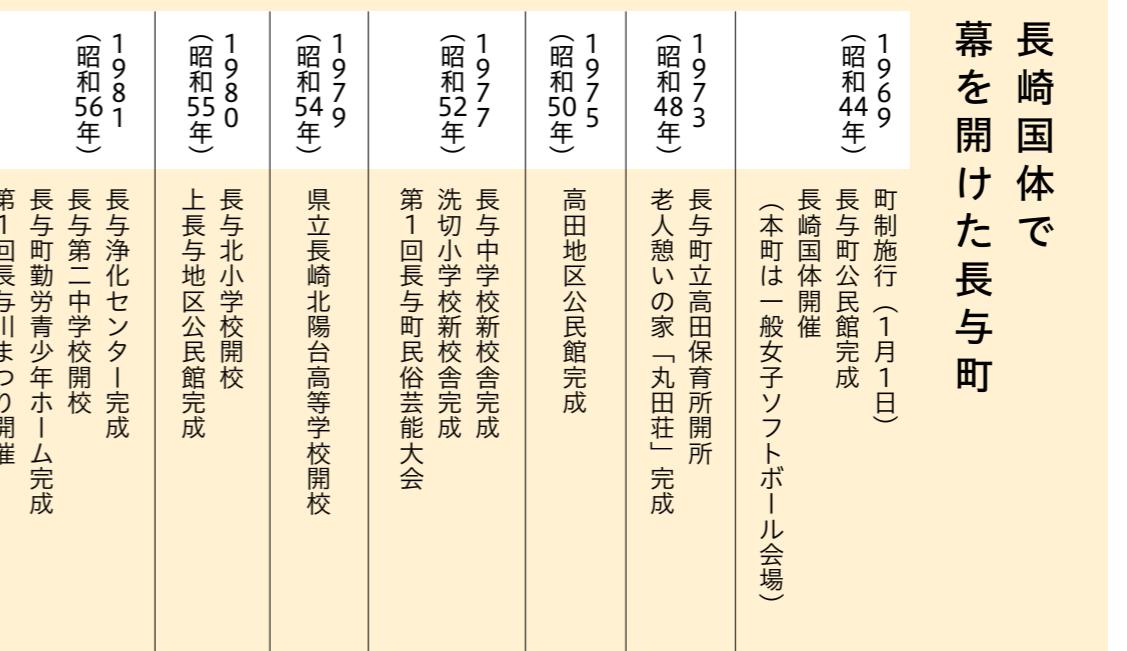
1969
2019



▲長与町役場(昭和44年)



▲長崎国体一般女子ソフトボール(昭和44年)



町制施行（1月1日）
長与町公民館完成
長崎国体開催
（本町は一般女子ソフトボール会）
長与町立高田保育所開所
老人憩いの家「丸田荘」完成
高田地区公民館完成
長与中学校新校舎完成
洗切小学校新校舎完成
第1回長与町民俗芸能大会
県立長崎北陽台高等学校開校
長与北小学校開校
上長与地区公民館完成
長与浄化センター完成
長与第二中学校開校
長与町勤労青少年ホーム完成
第1回長与川まつり開催



▲大水害の復旧作業に汗を流す 北陽台高校の生徒たち



▲長崎大水害(昭和57年7月23日)



▲長与町役場新庁舎完成(昭和63年)



▲長与ダム完成(昭和60年)

1982 (昭和57年)	1983 (昭和58年)	1984 (昭和59年)	1985 (昭和60年)	1986 (昭和61年)	1987 (昭和62年)	1988 (昭和63年)	1989 (昭和64年)
長与川改修工事完了 長与町民体育馆完成	長与町勤く婦人の家完成 長与町老人福祉センター「丸田荘」完成	長与町ペーロン資料館完成 長崎市立長崎商業高校、 長崎市泉町・長与町に移転開校	長与ダム完成 長与綜合公園プール完成	長与南小学校開校 長与町テニス広場オーブン 長与町役場新庁舎完成	ふれあい広場（多目的広場）オーブン 長与町図書館開館 長与町健康センター開館 長与町武道館完成	長与町歌「明日をひらく」発表	長崎大水害発生（7月23日）、 長与町で日本観測史上第一位、 1時間雨量187ミリを記録。 死者6人、被害総額90億円 人口30,000人到達
1990 (平成2年)	1991 (平成3年)	1992 (平成4年)	1993 (平成5年)	1994 (平成6年)	1995 (平成7年)	1996 (平成8年)	1997 (平成9年)
町道長与中央線全線開通							



▲北陽台



▲長崎県立大学シーボルト校



▲長崎がんばらんば国体 少年女子ソフトボール(平成26年)



▲発掘された長与三彩(平成17年)

ついに人口4万人を突破した長与町。自然環境と都市機能が調和した生活環境や、子育て・教育環境が充実した「暮らしやすいまち」として発展してきました。これから先「住みたい・住み続けたい・住んでよかつたといわれる幸福度日本一のまち」を目指したまちづくりを進めています。

未来を展望した 新しいまちづくりへ



1994-2019



▲ウェザースフィールド町との姉妹都市締結(平成9年)



▲「平和で安全な町」宣言(平成6年)

1994 (平成6年)	JR高田駅誕生
1996 (平成8年)	平和祈念碑完成(戦後50周年記念事業) 高田中学校開校
1997 (平成9年)	宿泊研修施設「つどいの家」完成 「平和で安全な町」宣言 中尾城公園オープン
1999 (平成11年)	長与町「陶芸の館」完成 ウエザースフィールド町との姉妹都市締結 長与町民文化ホール完成
1999 (平成11年)	県立長崎シーボルト大学開学 (現長崎県立大学シーボルト校)
2001 (平成13年)	長与町老人福祉センター「丸田荘」完成 長与町ウォーキングセンター・潮井崎交流館完成 まなび野1丁目～3丁目の住居表示実施
2001 (平成14年)	長与町児童館完成(町内全小学校区設置完了) 長与町特産品直売所「まんてん」オープン 人口40,000人到達
2001 (平成14年)	長与町老人福祉センター「丸田荘」完成 長与町ウォーキングセンター・潮井崎交流館完成 まなび野1丁目～3丁目の住居表示実施
2002 (平成15年)	長与町老人福祉センター「丸田荘」完成 長与町ウォーキングセンター・潮井崎交流館完成 まなび野1丁目～3丁目の住居表示実施
2002 (平成15年)	長与町ふれあいセンター・健康センター完成 長与町ふれあいセンター・健康センター完成
2003 (平成16年)	長与町ふれあいセンター・健康センター完成 長与町ふれあいセンター・健康センター完成
2003 (平成16年)	長与町ふれあいセンター・健康センター完成 長与町ふれあいセンター・健康センター完成
2004 (平成17年)	長与三彩発掘調査で長与三彩出土 長与町ふれあいセンター・健康センター完成
2004 (平成17年)	長与町ふれあいセンター・健康センター完成 長与町ふれあいセンター・健康センター完成
2005 (平成18年)	複合障害者施設「ほほえみの家」完成 複合障害者施設「ほほえみの家」完成
2006 (平成19年)	長与南交流センター完成 長与南交流センター完成
2007 (平成20年)	長与町海洋スポーツ交流館完成 長与町海洋スポーツ交流館完成
2008 (平成21年)	町道中尾城線供用開始 町道中尾城線供用開始
2009 (平成22年)	長与町水道局新庁舎完成 長与町水道局新庁舎完成
2010 (平成23年)	長与小学校新校舎完成 長与小学校新校舎完成
2011 (平成24年)	長与町立高田保育所新園舎完成 長与町立高田保育所新園舎完成
2012 (平成25年)	長崎がんばらんば国体 少年女子ソフトボール競技会開催 長崎がんばらんば国体 少年女子ソフトボール競技会開催
2013 (平成26年)	長崎がんばらんば国体 少年女子ソフトボール競技会開催 長崎がんばらんば国体 少年女子ソフトボール競技会開催
2014 (平成27年)	長崎がんばらんば国体 少年女子ソフトボール競技会開催 長崎がんばらんば国体 少年女子ソフトボール競技会開催
2015 (平成28年)	長崎がんばらんば国体 少年女子ソフトボール競技会開催 長崎がんばらんば国体 少年女子ソフトボール競技会開催
2016 (平成29年)	長崎がんばらんば国体 少年女子ソフトボール競技会開催 長崎がんばらんば国体 少年女子ソフトボール競技会開催
2017 (平成30年)	長崎がんばらんば国体 少年女子ソフトボール競技会開催 長崎がんばらんば国体 少年女子ソフトボール競技会開催
2018 (平成31年)	長崎がんばらんば国体 少年女子ソフトボール競技会開催 長崎がんばらんば国体 少年女子ソフトボール競技会開催
2019 (平成32年)	長崎がんばらんば国体 少年女子ソフトボール競技会開催 長崎がんばらんば国体 少年女子ソフトボール競技会開催

Culture 受け継いできたもの

郷土芸能

長与町には、長い年月、地域の人々によって守られ、受け継がれてきた伝統芸能があります。300年以上も受け継がれている太鼓や、長崎らしさを醸し出す川船、竜踊。神様とのつながりを物語る浮立など。

一人ひとりの熱い想いは時代を超えて積み重なって、現在の賑わいへとつながっています。

なぎなた踊



なぎなた踊りは明治時代前期に長与村で生まれ、静流なぎなたに棒術をとり入れたもの。7月の祇園祭では道中踊りとして披露されている。

浮立(平木場)



平木場浮立の特徴は、行列浮立といわれるもので、通常は、傘鉾・矢箱・カラ・ササラ・カケ踊・太鼓・鉦・笛で構成されている。

琴ノ尾太鼓(本川内)



元禄10年(1697)の銘がある元禄太鼓を中心に、昭和62年に和太鼓による組太鼓を編成した新しい郷土芸能。

獅子舞(吉無田)



獅子は悪魔を払い、五穀豊穣・家内安全を守るとされ、現在でも、摩利支尊天王神社の祭礼の日に奉納踊りを行っている。長崎くんちにも出演している。

にわか(西高田)



西高田のにわかは、「人形からい」と呼ばれ、踊る人が人形に背負われているような滑稽な所作は、江戸時代の農民のバイタリティが感じられる。

浮立(岡)



岡浮立は約200年の歴史をもつ行列浮立で、岡浮立の伝承には岡郷民がこぞって参加し、俗に岡の千人浮立と言われてきた。

川船(舟津)



明治20年、新築祝いに「川船ばやし」を披露したのが始まり。以来、数々の祝唄や大漁ばやしが作られた。

竜踊(斎藤)



明治時代に岩淵神社の祭神である竜神をまつるため踊られた。竜使いの機敏な動作と竜の大きな口から煙を吐く様は、特異かつ見事な演技で、多くの人々を魅了する。

獅子舞(道ノ尾)



道ノ尾獅子舞は、約200年の伝統を持ち、かつて農耕の里であった道ノ尾・高田越地区にあって豊作祈願や雨乞いの際に演じられた。

長与皿山窯跡(嬉里郷)

長与皿山窯跡は、波佐見焼の分窯的な位置にあります。当時の登窯の全容を解明するため、平成5年度に窯跡3カ所、物原3カ所の発掘調査が行われました。これにより、全長115mにも及ぶ登窯であることと江戸時代には大量の長与焼が生産されていたことが判明しています。



中尾城跡(三根郷・吉無田郷)

中尾城は、非常に備えるため、天文年間(1532~1554年)に長与権ノ助が築いたとされていますが、実際にはそのような非常事態は起こらなかったと言われています。

中尾城の土壘は、土をたたき締めて幾重にも重ねるという手が込んだつくりをしていたことが明らかになりました。これによって、大変貴重な遺構だとみなされ、町の指定史跡となっています。



堂崎遺跡(岡郷堂崎)

堂崎遺跡は、堂崎鼻一帯に広がる約2~3万年前(後期旧石器時代)の遺跡です。

遺跡からは、ナイフ形石器や石のやじりなどが採集され、旧石器時代から、縄文、弥生時代を経て古墳時代へと至る町内最古の遺跡です。

長与三彩

長与三彩は、江戸時代中期、長与窯で焼かれていた磁器三彩です。冷たい印象のある磁器でありながら、日本古来の漆器の暖かみが感じられます。漆手や金彩など多彩な技術を用いるなど華麗で芸術的価値も高く、すこぶる発色が良いのも特徴の一つです。

古くは旧石器時代の遺跡が残る長与。連綿と続いてきた歴史を今に伝える貴重な史跡などが、たくさん残っています。



寺屋敷跡・五輪塔群(丸田郷)

寺屋敷跡五輪塔群は、この地のかつての領主、長与一族と関係があるのではないかとみられる墓石です。南北朝時代から室町時代を経て戦国時代までに建立されたもので、このように、古い各時代の五輪塔が並んであるのは長崎県内でも珍しい史跡です。

ながよで生まれ、はぐくまれ、途絶えることなく伝えられてきた先人の教えや文化は、今どのように受け継がれているのでしょうか。

守ってきたもの

豊かな山と海が人に恵みを与え、
自然とともに歩み、生まれた産業が
町をはぐくんできました。

長与のみかんは、二
百年以上の歴史があり
ます。「長崎味ロマン」
「ことのうみみかん」
の名で、日本各地へ出
荷されており、甘くて
おいしいと評判です。



情熱を注いだみかん

つくり育てる
漁業へ転換
カキ、
ナマコ

長与町の漁業は、ヒ
ラメやナマコの放流、
カキの養殖など、栽培・
養殖型漁業を取り入れ
ています。

最も水揚げ量が多い
のはナマコで、食用だ
けでなく、黒ナマコ石
鹹などにも加工されて
います。

研究を重ねた
オリーブ

平成19年、長与町のオリーブ栽培が開始され、今
では町内約6ヘクタール
に約3,000本のオリーブが植えられています。
2019国際オリーブオイルコンテストでは、銀賞
を受賞するなど、6次産業の発展が期待されています。

二十歳からのみかんづくり
地域の農業を守っていく

長崎西彼農協ことのうみ
柑橘部会長と統括支部長 谷川 義浩 さん

農業大学校を卒業後、みかんづくりを
始める。ハウスみかんや「せとか」など
新しい品種の栽培に携わる。若い世代に
農業の魅力を伝えるため、長年、高校生の
農業体験の受入れを続けている。

伝統を守る使命感とともに
獅子舞を「誇り」に生きる

吉無田獅子舞保存会
会長 青田 厳 さん

吉無田獅子舞には、中学生から踊り手と
して関わっており長崎くんちに子獅子とし
て2回出演。現在は、会員数約70名の保存
会の会長として50年以上、吉無田獅子舞の
継承・保存に携わる。

牡蠣やなまこを守り
美しい長与浦を後世に残す

大村湾漁業協同組合
長与支部理事
長与浦再生活動組織代表 久松 正隆 さん

40歳を過ぎてから漁業を始め、牡蠣の
養殖やなまこ漁に携わる。平成21年から
「長与浦再生組織」を立ち上げ、浅場の改善
のため活動。子どもたちへの漁獲体験、
食育体験なども行っている。

長与の歴史・史跡を
「言葉」で繋いでいく

元長与町教育委員会
教育委員長 近藤 哲夫 さん

長与町郷土誌の制作に写真提供・現地
案内で協力。町史跡めぐり研修会の講師
を平成17年から10年間務める。現在は小
学校3・4年生を対象とする社会科の副読
本「ふるさと長与」の授業支援や自治会
での講演を行っている。

伝統を受け継ぐ人たち

先人たちによって
つながってきた長与を守り、
次の力へと変えていく人々

Dream 長与町の今、そして未来

LIFE 生活

充実の子育て支援

子どもをもつすべての親が安心して子育てができるよう、長与町ではきめ細やかで充実した支援を行っています。



自然と都市が調和した長与町は、子育てや教育環境が充実した「暮らしやすいまち」として評判。まちでの暮らしは笑顔でいっぱいです。

長与町子育て支援センター
(おひさまひろば、5つの児童館)

子育てに関する相談、親子のふれあい、お友達作り、情報交換の場として、いつでも気軽に遊びに行くことができます。



母子保健推進員協議会&各地区に広がる自主サークル活動

母子保健推進員が家庭を訪問し、妊娠・育児に関する情報提供や相談などを行っています。地域の方が主体の自主サークルでは、0歳児から行くことができる遊び場を提供しています。



パパママ学級
&マタニティックッキング

パパママ学級は、赤ちゃんのお風呂の入れ方や抱っこ体験など、実習を含んだ楽しい育児のプレスクールです。マタニティックッキングでは、妊娠中に必要な栄養と食事の量について、楽しく料理しながら勉強することができます。

自然あふれる生活環境

長与町は、美しい山々に囲まれ、波静かな大村湾を臨み、四季折々の風景が広がるまちです。こうした美しい自然をまちの財産として保全するため、長与川や大村湾の清掃活動などの環境美化に努めながら、これらも自然環境と都市機能が調和した生活環境づくりに取り組んでいきます。



身の回りの環境や、暮らし方が変わっていくなか、どのような可能性を秘めているのでしょうか。



新しい商業環境づくり

2017年5月、長与町に新しく大型商業施設「イオンタウン長与」が開業し、既存の商店街も含めた回遊導線のなかで、様々な用事を済ませることができます。

また、西そのまま工會では、工夫を凝らした各種イベントを開催しておる来場客との交流を通じ、将来の商工業について、新しい可能性を生み出しています。

魅力あふれるイベント



長与町では、一年を通して魅力あふれるイベントが開催されています。子どもから大人まで楽しめる多彩なイベントは、季節の訪れを教えてくれる大きなまちの財産です。



整備された公共交通

ミニバス

町内にはJR長崎本線の駅が4つあり、長与駅から長崎駅まで約16分と通勤や通学にとても便利です。

また、路線バスは隣接する長崎市方面、時津町方面への路線で構成されており、市町の変化とともに発達しつづけます。



STUDY
学び

長与町の教育は、地域・家庭・学校が一体となり、共に手を携えながら、「生きる力」を持つ長与っ子を育てることを目指します。

ながよの教育

現在、全国学力テストにおいて、毎年、全教科の正答率が全国平均を上回っており、県下トップクラスの学力水準を維持しています。

ながよ検定

町立小・中学校で配布されているながよ検定は、基礎学力を蓄え、充実感を実感し、楽しさに満ちた学校教育の実現を目指しています。

幼児教育から大学までそろった「文教のまち」は、学力の向上とともに、生きる力の育成に力をいれていきます。

HEALTH
健康様々な面から
健康づくりを
サポート

食育活動

食生活改善推進員、健康づくり推進員、健康ながよ21推進専門委員のボランティア団体が、様々な場面で食育活動に取り組んでいます。

長与町では、健康づくりが気軽に始められる環境づくりを行っています。また、子どもから高齢者まで、健康寿命の延伸などを目標に健康づくりに取り組んでいます。



ヘルシーウォーキング

長与町では、町民総歩きを目指して、年に3回ウォーキング大会を開催しています。長与の美しい景色を堪能しながら、体力の維持増進に取り組んでいます。

自立した生活を続けられるための、介護予防の取り組み



お元気クラブ

65歳以上の方を対象に、体操、軽スポーツ、レクリエーションなどを行う集いの場です。季節の行事やゲームなど、バリエーション豊富な活動で、楽しみながら介護予防に取り組んでいます。

「住み慣れたまちで自分らしく暮らせるまちづくり」のために、関係機関が一体となった地域包括ケアシステムの構築を目指します。



いきいきサロン

高齢者の閉じこもり予防や交流を目的に、地域住民のボランティア活動によって運営されている集いの場です。



英語教育

中学生を対象とした外国人と英語で交流するコミュニケーション活動の場を開催したり、小学生を対象とした英会話教室を開催したりと、グローバル社会において、国際感覚のある個性豊かな人材を育成しています。



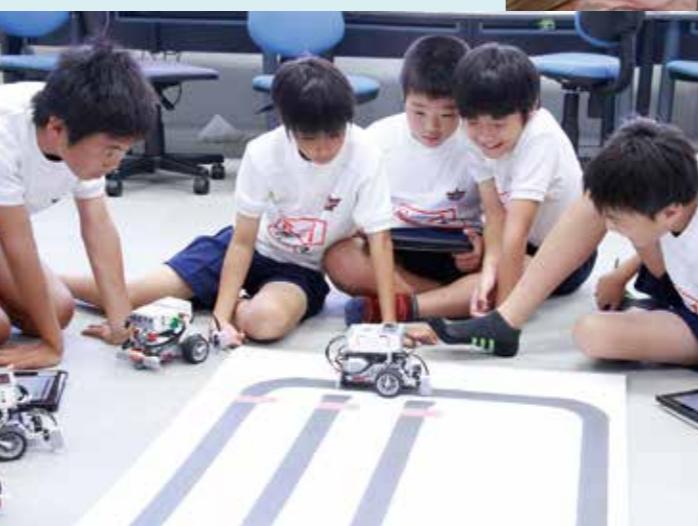
通学合宿

地域の子どもたちが共同で生活し、公民館などに宿泊しながら学校へ通う取り組みです。炊事・洗濯・掃除など日常的な家事を自分たちの力で行うことによって、子どもたちの社会性や自主性、「生きていく力」を育みます。また、地域の方々に調理補助やもらい湯などの協力を得ることで、地域教育のネットワークを広げ、地域の子どもは地域で見守り育むという機運が高まることが期待されています。



ICT活用

人とモノをつなぐIoT (Internet of Things)、幅広く活躍するロボット、膨大な情報をもとに学習し必要な情報を提供する人工知能 (AI) など、子どもを取り巻く環境は、凄まじいスピードで、進化しています。



長与町では、プログラミング用ロボットの活用やタブレットの導入など、小学校1年生から中学生まで様々な形で情報通信分野を体験しながら学習することで、社会性と問題解決能力を向上させ、新しい社会「Society 5.0」を担う人づくりを推進しています。長与町の子どもたちは、超スマート社会においても自立した人材となることを目指しています。

躍動する長与人

先人たちによってつながってきた長与を守り、次の力へと変えていく人々

自然に囲まれ、教育・文化、そして人づくりに力を入れてきた長与町。この町に育まれ、豊かな感性と健やかな心身を持つ「長与人」は、今どのような活躍をしているのでしょうか。

からを未来へ

長与を次の時代へとつないでいく力強い子どもたち

未来のちから



辻本 健輝さん
洋画家



中西 弾さん
バイオリニスト



水本 圭治さん
カヌー選手



森 智香子さん
陸上選手



桂 嵐斗さん
柔道選手

〈プロフィール〉
高校卒業後、当時最年少で県展「野口彌太郎賞」を受賞。全国コンクールなどに出展し、キャリアを積んでいく。20歳から絵画教室を任せられ、町内外で絵画教室3つを主宰。23歳の時に日動画廊が主催する若手画家の登竜門、昭和会展会で松村謙三賞を受賞。同年、長与町に「長与町洋画部会」を立ち上げ代表を務める。

〈主な大会成績〉

- 2013年
第48回昭和会展会 村松謙三賞
第11回春季二紀展新人選抜大賞
長与町教育文化奨励賞
九州二紀展九州二紀賞
■2015年 アートオリンピア2015
片岡鶴太郎特別賞

〈プロフィール〉
5歳からバイオリンを習い始める。小学生からはジュニアオーケストラに入り、多くのコンサート海外公演などを経験。最近では作曲も手掛け、TVやラジオ、ミュージカル等の舞台にオリジナル曲を提供。趣味はサッカー、ジョギング、釣り、キャンプ。

〈主な大会成績〉

- 第7、10、12回ながさき若い芽のコンサート出演
- 第36、38回長崎県高校音楽コンクール金賞受賞
- 第10回宮日音楽コンクール 優秀賞受賞

〈プロフィール〉
岩手県出身。2014年の長崎国体の指導員兼選手として2012年から長崎での活動を始める。現在株式会社トヨタモーター所属。2020年の東京オリンピック日本代表に内定。

〈主な大会成績〉

- 2018年
日本スプリント選手権
カヤックシングル1,000m優勝
カヤックシングル500m優勝
カヤックフォア500m優勝
第18回アジア大会(ジャカルタ)
カヤックフォア500m 4位
カヤックペア1,000m 5位
- 2019年
世界選手権大会
男子カヤックフォア500m 3位

〈プロフィール〉
長大附属小学校の校内マラソンをきっかけに同中学進学後陸上競技部へ入部。諫早高校から埼玉県の大東文化大学を経て現在は積水化学工業(株)に所属。千葉県柏市を拠点に活動中。種目は3000M障害がいや駅伝を中心に、1500M～ハーフマラソンまで。愛称は「もりちか」。身長159cm。

〈主な大会成績〉

- 2017年第101回日本陸上競技選手権大会3000M障害がい 優勝
- 2018年第60回東日本実業団対抗陸上競技選手権大会3000M障害がい 優勝
- 2018年第102回日本陸上競技選手権大会3000M障害がい 6位
- 2019年第59回唐津10マイルロードレース女子10km 2位

〈プロフィール〉
身長170cm、体重66kg、血液型A型。3歳の頃から柔道を始める。現在日本大学在学。最近の趣味は映画鑑賞。好きな食べ物はいちご、肉、ヨーグルト。

〈主な大会成績(66kg級)〉

- 2017年
全日本カデ 優勝
世界カデ個人戦 優勝
- 2018年
全国高校総合体育大会柔道男子個人 優勝
- 2019年
夏季ユニバーシアード(イタリア・ナポリ) 銀メダル

奇跡

Dream

登山

長崎北陽台高等学校 登山部



〈プロフィール〉

登山部は男子1981年、女子1983年創部。約15kgの荷物を背負っての訓練、テントの設営、山域などの基本知識の学習など、体力・技術・知識を培い、「安全かつ楽しい」登山を目指し、部員一丸となって練習。

〈主な大会成績〉

- 九州大会
男子5年連続20回目の優勝
女子2年連続13回目の優勝
- 全国大会
令和元年度男子優勝、女子準優勝
なお、全国大会では男子は92年以降、合計8度の優勝。女子は04年に優勝。



長崎北陽台高等学校 ラグビー部

〈プロフィール〉

ラグビー部は1979年に同好会として発足。1980年創部、現在38名が所属。チームカラーは青。チームコンセプトは「鉄になれ!」。「我が身を挺してボールを生かせ」現主将の岡崎颶馬(3年)を中心に全国ベスト4以上を目標に活動。

〈主な大会成績〉

- 花園に17回出場
うち準優勝1回、ベスト4 1回、ベスト8 3回
- 令和元年度長崎県高総体 2年連続18回目の優勝
- 令和元年度全国7人制大会3位

ラグビー

長与ヤングラガーズ

〈プロフィール〉

1987年に設立。幼児からシニアまでの幅広い年齢層の会員が所属しており、100人を超える部員が活動。普段は、小学部と中学部に分かれ、長与総合公園運動公園広場をホームグラウンドとして練習。

〈主な大会成績〉

- 平成29年2月 長崎県スポーツ表彰
社会体育優良団体賞受賞
- 平成30年度 生涯スポーツ優良団体表彰(文部科学大臣表彰)



ソフトボール

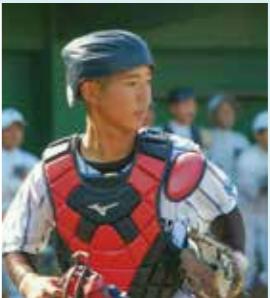
赤坂 優真さん

〈プロフィール〉

高田小学校、高田中学校を卒業。父の影響を受け、ソフトボールを始める。ポジションはショートで右投げ、右打ち。ソフトボールの名門大村工業高校に進学し、将来は日本代表を目指す。

〈主な大会成績〉

- 第37回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会優勝



天田 純介さん

〈プロフィール〉

高田小学校、高田中学校を卒業。小学4年、仲良しの赤坂優真君が所属していた『こうだ小さふと部』に入部。投手だった優真君の球を受けるため、当時から捕手をしていた。名門大村工業高校へ進学。将来は日本代表を目指す。

〈主な大会成績〉

- 第54回全日本高校男子選手権(全国高校総体) 優勝

森 健音さん

〈プロフィール〉

現在長崎日本大学高等学校3年。中学2年の時に合唱部の先生との出会いをきっかけに吹奏楽部から合唱部へ移り合唱を始め、中学3年から声楽の勉強を始める。



声楽

〈主な大会成績〉

- 第21回九州音楽コンクール
声楽部門高校生クラス
最優秀賞 高校の部1位
- 第11回東京国際声楽
コンクール地区大会最優秀賞

陸上

廣田 麟太郎さん

〈プロフィール〉

小学5年生の時、両親の勧めで長崎陸上クラブに入り、陸上競技を始める。長与第二中学校陸上部に入部後は短距離が中心だったが、中学2年の秋から跳躍競技(三段跳、走幅跳)に本格的に取り組む。現在長崎日本大学高校陸上部に在籍。



〈主な大会成績〉

- 全国高等学校陸上競技対抗選手権大会(インターハイ)
男子三段跳3位、男子走幅跳6位入賞
- 全国高等学校陸上競技選抜大会
男子二段跳 優勝

未来にはばたく子どもたち

小学校5校と中学校3校、長与町の子どもたち

未来のちから

長与小学校 全校児童 903名

1・2年生
(長与小)



洗切小学校

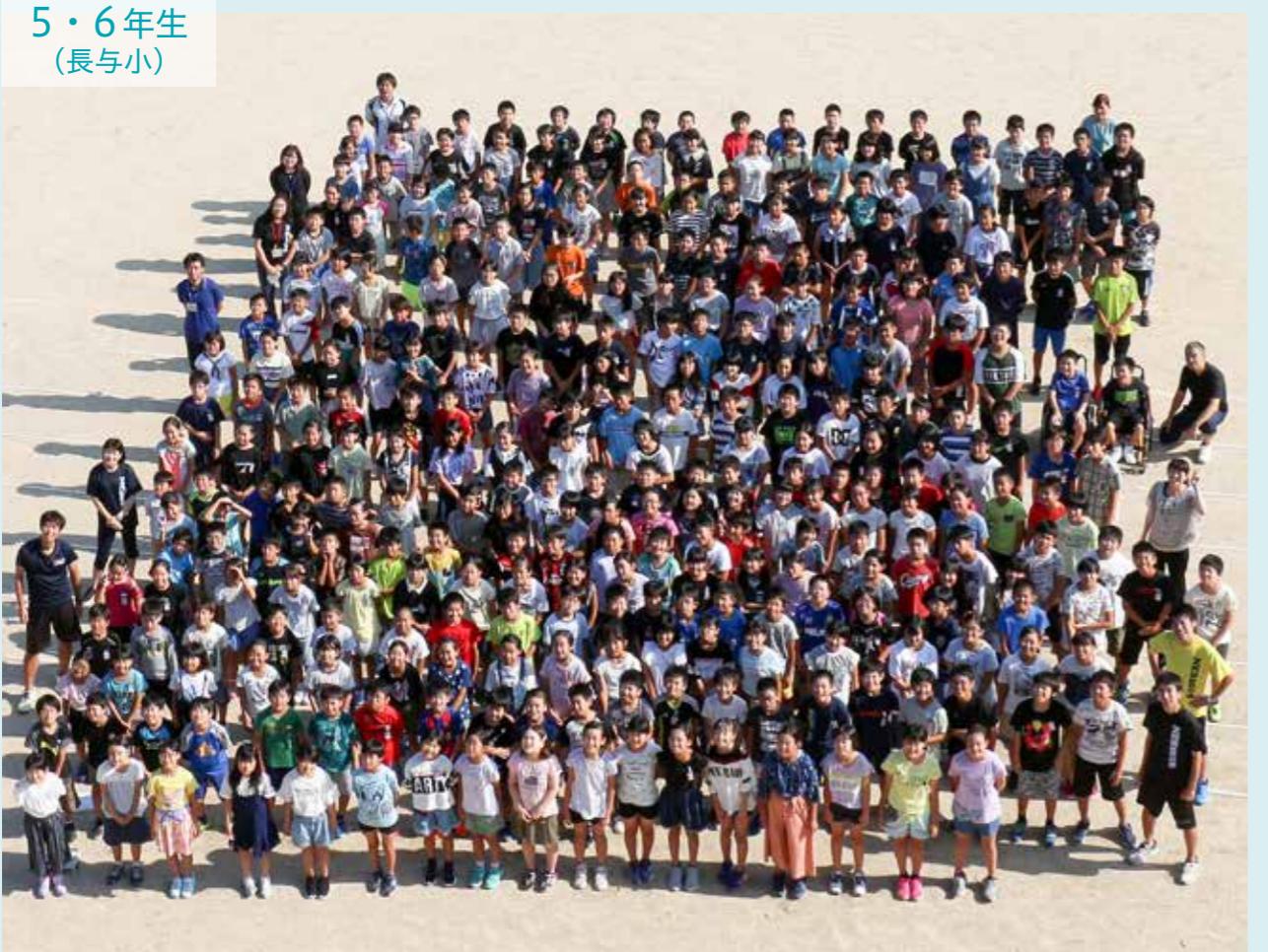
全校児童 265名



1～6年生
(洗切小)

奇跡
— Dream —

5・6年生
(長与小)



3・4年生
(長与小)



長与南小学校 全校児童 574名

1～3年生
(長与南小)



長与北小学校 全校児童 299名

1～6年生
(長与北小)



4～6年生
(長与南小)



高田小学校 全校児童 194名

1～6年生
(高田小)



高田中学校

全校生徒 194名



1～3年生
(高田中)

長与中学校

全校生徒 513名



1年生
(長与中)

長与第二中学校

全校生徒 397名



1～3年生
(長与第二中)

2年生
(長与中)

3年生
(長与中)



長与町の位置・面積・広さ



【位置】
(役場)
東経 129°52'39"
北緯 32°49'19"

【面積】
28.73km²

【広さ】
東西 8km
南北 12km



町章



ナガヨの「ナ」を鳥が飛ぶ様に見立てたもので、円の部分で円満性を、両翼と三角形の頭部で飛躍と発展性を表現しています。昭和42年公募により制定しました。



町花・町木／うめ

毎春、梅は他の草木に先がけて花をつけるとともに、純潔・謙虚・忍耐を表す花とも言われ、本町が他に先がけて物事に取り組み、実現してほしいとの町民の期待が込められています。



イメージキャラクター／ミックン

町制施行30周年記念として、平成11年に、長与町をよりよくPRするためにイメージキャラクターを一般公募。長与町の特産品であるミカンをモチーフに、ミカンの葉に乗って大空へ飛び立つ元気な子どもの様子をイメージした「ミックン」が誕生しました。

長与町町制施行50周年記念誌 きせき [世帯配布版]

発行 長与町

〒851-2185 長崎県西彼杵郡長与町嬉里郷 659 番地 1
TEL.095-883-1111(代表) FAX.095-883-1464

企画・編集 長与町役場 総務部 秘書広報課

制作・印刷 川口印刷株式会社

町制施行50周年記念動画は

下記QRコードから
ご覧いただけます。



環境に配慮し、再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOC ベジタブルインキで印刷されています。